

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和58年9月12日 第22報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	20		
(藍) <i>Chroococcus sp.*</i>	60		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	500		
(藍) <i>Anabaena sp.*</i>	200		
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	40		
(藍) <i>Lyngbya limnetica</i> *	60		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	920	○	
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(緑) <i>Tetraedron limneticum</i>	20		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	3840	◎	◎
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	120		○
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	880	14.7	29.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	960	16.0	10.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	1.7	1.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	4060	67.7	59.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	6000	総体積	1.45E+07
種 類 数	15	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	3840

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	920

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。